

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3909491号

(P3909491)

(45) 発行日 平成19年4月25日(2007.4.25)

(24) 登録日 平成19年2月2日(2007.2.2)

(51) Int. Cl.

F I

A 4 4 B 19/26 (2006.01)

A 4 4 B 19/26

A 4 4 B 19/38 (2006.01)

A 4 4 B 19/38

請求項の数 7 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2002-274333 (P2002-274333)	(73) 特許権者	000006828
(22) 出願日	平成14年9月20日(2002.9.20)		Y K K株式会社
(65) 公開番号	特開2004-105570 (P2004-105570A)		東京都千代田区神田和泉町1番地
(43) 公開日	平成16年4月8日(2004.4.8)	(74) 代理人	100070529
審査請求日	平成17年6月20日(2005.6.20)		弁理士 縣 一郎
		(74) 代理人	100091948
			弁理士 野口 武男
		(74) 代理人	100119699
			弁理士 塩澤 克利
		(72) 発明者	槻 慶一
			富山県滑川市宮窪701-9
		(72) 発明者	結城 憲治
			富山県富山市水橋中村524-3
		審査官	内山 隆史

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 隠しスライドファスナー用スライダー

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

底板13の両側に側壁14を立設し、側壁14の上端を内側へ屈曲してフランジ15を設けた隠しタイプのスライダーにおいて、フランジ15と側壁14にかけてフランジ15の肩口43側の先端から下り勾配の斜面を設けてガイド部22を形成してなることを特徴とする隠しスライドファスナー用スライダー。

【請求項2】

底板13の両側に側壁14を立設し、側壁14の上端を内側へ屈曲してフランジ15を設けた隠しタイプのスライダーにおいて、蝶棒11挿入側のガイド溝17におけるフランジ15と側壁14にかけてフランジ15の肩口43側の先端から下り勾配の斜面を設けたガイド部22を形成してなることを特徴とする開離型の隠しスライドファスナー用スライダー。

【請求項3】

フランジ15の先端は案内柱16の側面に対し、直角または後口44側へ多少傾いて配されてなる請求項1または2記載の隠しスライドファスナー用スライダー。

【請求項4】

フランジ15における斜面の起点は、引手2の取付軸35を案内柱16に軸支した部分を始端として斜面を形成してなる請求項1または2記載の隠しスライドファスナー用スライダー。

【請求項5】

10

20

フランジ 1 5 と側壁 1 4 にかけて配設する下り勾配の斜面からなるガイド部 2 2 は、側壁 1 4 の縦断面形状が直線を描く形状に形成してなる請求項 1 または 2 記載の隠しスライドファスナー用スライダ。

【請求項 6】

フランジ 1 5 と側壁 1 4 にかけて配設する下り勾配の斜面からなるガイド部 2 2 は、側壁 1 4 の縦断面形状が曲線を描く形状に形成してなる請求項 1 または 2 記載の隠しスライドファスナー用スライダ。

【請求項 7】

フランジ 1 5 の上面に所定間隔をおいて略胴体 1 の輪郭に等しい覆板 3 2 を案内柱 1 6 に配設してなる請求項 1 または 2 記載の隠しスライドファスナー用スライダ。

10

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、隠しスライドファスナーにおけるスライダに関し、スライダは止め製品すなわちファスナーチェンの終端を止具で閉鎖した隠しスライドファスナー、および開き製品すなわちファスナーチェンの終端に開離嵌挿具を備えた開離型隠しスライドファスナーに用いる隠しタイプのスライダに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来の隠しスライドファスナーにおけるスライダにおいて、図 1 4 に示すように、下板部の両側に側壁部を立設し、この側壁部の上端を内側へ屈曲してファスナーエレメントをガイドする上片部を設け、側壁部の前端部分を傾斜させるとともに、上片部の内側先端を肩口側へ突出させた突部を設けた隠しタイプのスライダが知られている。（例えば、特許文献 1 参照。）

20

【0003】

また、図 1 5 に示すように基板の両側に側板を立設し、この側板の上端を内側へ屈曲してファスナーエレメントをガイドする上面板を設け、上面板の先端を基板の先端よりも後口側に位置させるとともに、側板の先端部分をコ字状に切欠いて上面板と基板との間に開口を設けた隠しタイプのスライダが知られている。（例えば、特許文献 2 参照）。

【0004】

30

【特許文献 1】

実公昭 4 6 - 6 5 7 4 号公報（第 1 , 2 頁、第 1 ~ 4 図）

【特許文献 2】

実公昭 5 6 - 2 2 7 2 9 号公報（第 1 , 2 頁、第 1 ~ 4 図）

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

前項で述べた特許文献 1 に開示された隠しタイプのスライダは、側壁部の上端を内側へ屈曲して設けた上片部の先端が、スライダの肩口側へ突出する突部を設けているため、スライダを摺動させるとき、突部がファスナーエレメントに反転状に取り付けられたファスナーテープに摺接し摺動抵抗が大きく軽快な摺動操作ができない。また開き製品に開離型スライダとして用いた場合、蝶棒をスライダに挿入する際、ファスナーテープの端部が突部に引っ掛かり、または触突し円滑な差し込み操作が行えないなどの問題点がある。

40

【0006】

また、特許文献 2 に開示された隠しタイプのスライダも前例と同様に、側板の先端をコ字状に切欠いて開口を設けることによって、上面板の先端がスライダの肩口側へ突出して突片部分を形成し、この側板から突出する突片部分がスライダの摺動の際、ファスナーエレメントに反転状に取り付けられたファスナーテープに摺接し、摺動抵抗が大きく軽快な摺動操作ができない。また開離型スライダとして用いた場合、蝶棒をスライダに挿入するときファスナーテープの端部が突片部分に引っ掛かり、または触突して円滑な差

50

し込み操作ができないなど問題点がある。

【 0 0 0 7 】

この発明は、上述の問題点を考慮して発明されたものであり、請求項 1 および 2 記載の発明は、隠しスライドファスナー用スライダーを止め製品の隠しファスナーチェン、および開き製品のファスナーチェンの双方に用いたとき、それぞれファスナーエレメントに反転状すなわち U 字状に取り付けられたファスナーテープ間を円滑に摺動でき、かつ開き製品の場合は、ファスナーチェンの端部に取り付けた開離嵌挿具の蝶棒をスライダーへ差し込んだ後、箱体へ差し込むため、蝶棒を取り付けたファスナーテープの端部がスライダーのフランジに邪魔されることなく軽快にスライダーがガイドして挿入できる隠しスライドファスナーのスライダーを提供することが主たる目的である。

10

【 0 0 0 8 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の目的に加え、隠しタイプのスライダーにおける案内柱とフランジ先端との配置関係をスライダーの摺動および蝶棒の差し込み操作を円滑かつ効率よく行える隠しスライドファスナーのスライダーを提供することが目的である。

【 0 0 0 9 】

請求項 4 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の目的に加え、隠しファスナーチェンをスライダーの引手による引っ張り操作によって摺動させるとき、スライダーのフランジがファスナーチェンに与える摺動抵抗を極力小さくし、円滑に摺動を行える隠しスライドファスナーのスライダーを提供することが目的である。

20

【 0 0 1 0 】

請求項 5 および 6 記載の発明は、それぞれ請求項 1 または 2 記載の発明の目的に加え、隠しタイプのスライダーによって、開離嵌挿具の蝶棒をスライダーおよび箱体へ差し込むとき、蝶棒を備えたファスナーテープの端部を円滑かつ有効にガイド作業ができる隠しスライドファスナーのスライダーを提供することが目的である。

【 0 0 1 1 】

請求項 7 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の目的に加え、隠しスライドファスナーであるが通常の開き製品のスライドファスナーに酷似させて、顧客が通常の開き製品と同様の開離嵌挿操作が容易に行える形態にスライダーを形成し、また安心して使用できる隠しスライドファスナー用スライダーを提供することが目的である。

30

【 0 0 1 2 】

【課題を解決するための手段】

前記の目的を達成するため、この発明のうち請求項 1 記載の発明は、隠しタイプのスライダーが底板 1 3 の両側に側壁 1 4 を立設し、この側壁 1 4 の上端を胴体 1 の内側へ屈曲してフランジ 1 5 を設け、このフランジ 1 5 と側壁 1 4 とにかけてフランジ 1 5 における胴体 1 の肩口 4 3 側に位置する先端から下り勾配の斜面を設けることによって、フランジ 1 5 と側壁 1 4 にガイド部 2 2 を形成した隠しスライドファスナーのスライダーを主な構成とするものである。

【 0 0 1 3 】

請求項 2 記載の発明は、開離型の隠しタイプのスライダーが底板 1 3 の両側に側壁 1 4 を立設し、この側壁 1 4 の上端を胴体 1 の内側へ屈曲してフランジ 1 5 を設け、少なくとも蝶棒 1 1 挿入側のファスナーエレメント 6 を挿通するガイド溝 1 7 におけるフランジ 1 5 と側壁 1 4 とにかけて、フランジ 1 5 における胴体 1 の肩口 4 3 側に位置する先端から下り勾配の斜面を設けることによって、フランジ 1 5 と側壁 1 4 にガイド部 2 2 を形成した開離型の隠しスライドファスナーのスライダーを主な構成とするものである。

40

【 0 0 1 4 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の構成に加え、フランジ 1 5 の肩口 4 3 側の先端は、胴体 1 における案内柱 1 6 の側面に対し、直角または後口 4 4 側へ多少傾いて配置してフランジ 1 5 を形成した隠しスライドファスナーのスライダーである。

【 0 0 1 5 】

50

請求項４記載の発明は、請求項１または２記載の発明の構成に加え、フランジ１５におけるガイド部２２の斜面の起点は、胴体１の案内柱１６に取り付けた引手２の取付軸３５を軸支した部分をガイド部２２の始端として斜面を形成した隠しスライドファスナーのスライダである。

【００１６】

請求項５記載の発明は、請求項１または２記載の発明の構成に加え、フランジ１５と側壁１４とにかけて配設する下り勾配の斜面から形成したガイド部２２は、側壁１４における縦断面形状が直線を描く形状に形成した隠しスライドファスナーのスライダーである。

【００１７】

請求項６記載の発明は、請求項１または２記載の発明の構成に加え、フランジ１５と側壁１４とにかけて配設する下り勾配の斜面から形成したガイド部２２は、側壁１４における縦断面形状が曲線を描く形状に形成した隠しスライドファスナーのスライダーである。

【００１８】

請求項７記載の発明は、請求項１または２記載の発明の構成に加え、隠しタイプのスライダーのフランジ１５の上方にフランジ１５と所定間隔をおいて、略胴体１の平面における輪郭に等しい覆板３７を案内柱１６に配設した隠しスライドファスナーのスライダーである。

【００１９】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の隠しスライドファスナー用スライダーの実施の形態について、図面を参照しながら具体的に説明する。

【００２０】

この発明の隠しスライドファスナー用スライダーは、図１に示す第１実施例の隠しタイプのスライダーは、自動停止機構を備え、胴体１は亜鉛合金、アルミニウム合金などの金属をダイカスト成形して形成し、胴体１は底板１３の両側に側壁１４を立設し、この側壁１４の上端を内側へ屈曲することによってフランジ１５を形成し、底板１３の中央には案内柱１６を立設するとともに、この案内柱１６とフランジ１５間および両側のフランジ１５間にファスナーテープ５が挿通できる間隙Ｓを設け、案内柱１６と側壁１４およびフランジ１５に囲繞された部分に、Ｕ字状に折曲したファスナーテープ５の一側縁に取り付けたファスナーエレメント６を挿通しガイドできるガイド溝１７を設ける。

【００２１】

案内柱１６の上部には縦方向に凹状の凹溝部１８を設け、この凹溝部１８に図３に示すように一端に停止爪２５を有するフック状の爪杆２４を遊嵌して中央部分に穿設した軸孔２８に支軸３０を挿通して固定し、爪杆２４を回動可能に形成する。爪杆２４の一端に設けた停止爪２５の基部に凹状の引掛部２６を設けて引手２を連結するトライアングル状のクランパー３４の一端に形成した取付軸３５を嵌挿し、爪杆２４の他端には凹欠状の押圧部２７を設け、案内柱１６における凹溝部１８の下側に円筒の収納孔１９を設けてスプリング３１を収容し、スプリング３１の上端は押圧部２７に圧接して停止爪２５を案内柱１６の後口４４側の先端に延設した突片２０に形成した爪孔２１から進退自在に形成してスライダーの摺動を自動停止させる。

【００２２】

このように形成した隠しタイプのスライダーにおいて、この発明が最も重要視している構成は、底板１３の両側に立設した側壁１４と、側壁１４の上端に屈設したフランジ１５の肩口４３側に、ファスナーテープ５をガイドするガイド部２２を形成する。ガイド部２２は案内柱１６に取り付けたクランパー３４の取付軸３５の近傍、すなわち取付軸３５と支軸３０間に配設するのがよい。ガイド部はフランジ１５から側壁１４にかけて縦断面形状が肩口４３側へ直線状の下り勾配の斜面を形成し、フランジ１５におけるガイド部２２は案内柱１６の側面に対し直角または後口４４側へ多少傾いた形状を呈するように配されている。

【００２３】

10

20

30

40

50

この斜面状のガイド部 22 は、図 4 ~ 7 に示すように、ファスナーチエン 4 の端部に配した開離嵌挿具 8 における蝶棒 11 を箱体 9 に挿入する際、図 4 , 5 に示すようにスライダの胴体 1 に形成したガイド溝 17 へ一方のファスナーテープ 5 の端部に固定した補強テープ 7 の側縁に取り付けた蝶棒 11 を挿入すると、ファスナーテープ 5 の先端はスライダの側壁 14 に設けた斜面のガイド部 22 に沿って滑動し、図 5 に示すようにフランジ 15 の先端に設けたガイド部 22 へ誘導する。図 6 に示すように蝶棒 11 をガイド溝 17 の内部へ進入させると、U 字状のファスナーテープ 5 の先端はガイド部に沿って誘導され、スライダに形成されたフランジ 15 と案内柱 16 間に設けた間隙 S へガイドして挿入する。さらに蝶棒 11 を内側へ進入させると、U 字状のファスナーテープ 5 の先端はスライダに形成された案内柱 16 の後口 44 側に形成された対向するフランジ 15 間に設けた間隙 S へガイドされる。

10

【 0 0 2 4 】

その後さらに蝶棒 11 をガイド溝 17 の奥へ進入させると、スライダと当接しファスナーテープ 5 の端部に取り付けられた開離嵌挿具 8 の箱体 9 へ進出し、図 7 に示すように蝶棒 11 は箱体 9 の蝶棒挿入部 12 へ挿入し固定される。この状態でスライダを肩口 43 方向へ摺動させることによって、ファスナーチエン 4 を閉鎖させることができる。

【 0 0 2 5 】

このような一連の操作たとえばファスナーテープに取り付けた蝶棒の箱体への嵌挿操作においては、胴体 1 の側壁 14 とフランジ 15 に設けた斜面のガイド部 22 には突出部分がないので、ファスナーテープ 5 の端部をスムーズにガイドし、嵌挿操作を容易に行うことができる。またファスナーチエン 4 の開閉操作の際は、胴体 1 における案内柱 16 の側方において、ガイド部 22 から肩口 43 側へ突出する突出部分がないので、スライダの摺動の際、摩擦抵抗が小さく、軽快な摺動操作ができ、このスライダは開き製品のみでなく止め製品にも用いることができる。

20

【 0 0 2 6 】

なお図 4 に示すように、ファスナーテープ 5 の端部に取り付けられた開離嵌挿具 8 における箱体 9 の上面が斜面状に形成してあるのは、スライダの後口 44 を箱体 9 に当接したとき傾斜状にスライダを載置することができ、蝶棒 11 の差し込み操作が円滑かつ容易にできるように便宜を図ったものである。また案内柱 16 の上部に設けた凹溝部 18 が偏倚しているのは、装着された爪杆 24 の停止爪 25 が箱棒 10 を取り付け付けた側のファスナーエレメント 6 間に確実に挿入できるように形成したものである。

30

【 0 0 2 7 】

図 8 ~ 10 に示す第 2 実施例の隠しタイプのスライダは、胴体 1 の底板 13 の両側に立設した側壁 14 と、この側壁 14 の上端を内側へ屈曲して設けたフランジ 15 とに形成する斜面のガイド部 22 の形態が前例とは多少異なる以外は略同一形態である。図 8 , 9 に示すようにガイド部 22 が始まる起点を引手 2 を胴体 1 へクランパー 34 によって連結したクランパー 34 の取付軸 35 を基準としてガイド部 22 を設置したものである。

【 0 0 2 8 】

このようにガイド部 22 の起点を引手 2 の取付軸 35 を基準に設けることによって、ファスナーチエン 4 を閉鎖する際、一方のファスナーテープ 5 に取り付けられた蝶棒 11 をスライダのガイド溝 17 に挿入する際、前例と同様に円滑に操作ができる。蝶棒 11 を箱体 9 に差し込んだ後、スライダを摺動させてファスナーチエン 4 を閉鎖する際、引手 2 の引っ張り操作により胴体 1 の肩口 43 側に障害物、たとえばフランジ 15 の先端が突出していると、U 字状に折曲したファスナーテープ 5 の内面を擦過するため、摺動抵抗が大きく重く感じるが、取付軸 35 から肩口 43 側にフランジ 15 が突出していないので、摩擦抵抗が小さく円滑な操作を行うことができる。

40

【 0 0 2 9 】

図 11 はガイド部 22 の変形例を示すもので、隠しタイプのスライダにおいて、胴体 1 のフランジ 15 から側壁 14 にかけて形成する斜面のガイド部 22 は、胴体 1 に取り付けられた引手 2 のクランパー 34 における取付軸 35 の近傍から胴体 1 の肩口 43 へ向けた縦断

50

面形状が下り勾配の斜面のガイド部 22 が前例とは異なり、直線ではなく曲線たとえばなだらかな S 字状を呈する斜面に形成し、ガイド部 22 の底板 13 との接点およびフランジ 15 における隅角部をそれぞれ曲面によって形成することにより、ファスナーテープ 5 との接触を和らげ、円滑な蝶棒 11 の差し込み操作およびスライダーの摺動操作が行えるように形成したものである。

【0030】

図 12, 13 に示す第 3 実施例の隠しタイプのスライダーは、胴体 1 における下半部分の形態が第 1 実施例の形態と同一であるが、異なるのは上半部分の形態である。すなわちフランジ 15 の上方に所定の間隔をおいて、略胴体 1 の平面の輪郭に等しい覆板 32 を案内柱 16 に装着し、通常の開き製品のスライダーに酷似させたことである。

10

【0031】

詳述すると、覆板 32 における表面の前後に三角状の取付柱 38 を斜面が対向するように配設し、この取付柱 38 は中央長手方向に間隙部分があり、この間隙部分に、一端に停止爪 25 があるへの字状の爪杆 39 を介在させ、爪杆 39 の上側へ板スプリング 40 を載置して爪杆 39 の中央を下方へ付勢させて自動停止機能を具有させ、三角状の取付柱 38 間に引手 2 を連結したクランパー 34 の取付軸 35 を嵌挿し、引手 2 を引っ張ると三角状の取付柱 38 がカムの働きをし、板スプリング 40 に抗して爪杆 39 を押し上げ、停止爪 25 をファスナーエレメント 6 間から脱出させ摺動させる。なお板スプリング 40 の上方に船底形のカバーを被覆して側面を取付柱 38 にかしめ付ける。

【0032】

20

この隠しタイプのスライダーも前例と同様な操作を行う。たとえば図 13 に示すように、胴体 1 の肩口 43 から U 字状に折曲したファスナーテープ 5 に取り付けた蝶棒 11 をガイド溝 17 へ差し込み、ファスナーテープ 5 は斜面のガイド部 22 にガイドされ、フランジ 15 と覆板 32 の間で、フランジ 15 の側縁に配された間隙 S を通り蝶棒 11 を箱体 9 の蝶棒挿入部 12 に挿入して固定し、スライダーを摺動させてファスナーチェン 4 を閉鎖させる。蝶棒 11 の差し込みの際、覆板 32 が存在するため、通常タイプの開き製品と同様な差し込み操作ができる。

【0033】

以上説明したとおり、この発明の隠しタイプのスライダーは、開き製品たとえばファスナーチェンの端部に開離嵌挿具を備えた隠しスライドファスナーに使用できる以外に、止め製品たとえばファスナーチェンの端部を下止具によって固定した隠しスライドファスナーにも使用できるスライダーである。

30

【0034】

【発明の効果】

この発明の隠しスライドファスナー用スライダーは、以上説明したとおりの構成であり、この構成によって下記の効果を奏するものである。

【0035】

この発明のうち請求項 1 および 2 記載の発明は、底板の両側に側壁を立設し、側壁の上端を内側へ屈曲してフランジを設けた隠しタイプのスライダーにおいて、フランジと側壁にかけてフランジの肩口側の先端から下り勾配の斜面を設けてガイド部を形成し、あるいは蝶棒挿入側のガイド溝におけるフランジと側壁にかけてフランジの肩口側の先端から下り勾配の斜面を設けたガイド部を形成したことにより次の効果がある。

40

【0036】

この発明の隠しタイプのスライダーは、止め製品すなわち隠しファスナーチェンの端部を下止具によって固定したスライドファスナー、および開き製品すなわち隠しファスナーチェンの端部に開離嵌挿具を具備したスライドファスナーの双方に用いることができ、隠しタイプのスライダーはファスナーチェンを閉鎖する際、スライダーの引手を閉鎖方向へ引っ張り移動させるとき、フランジと側壁の前面にガイド部があるため円滑に摺動でき、特に従来品のように側壁の前面にフランジが存在しないから摺動抵抗が小さく軽快に摺動できる。

50

【 0 0 3 7 】

また開き製品の場合は、ファスナーテープに取り付けた蝶棒をスライダーおよび箱体へ挿入する際、U字状に折曲したファスナーテープがスライダーのフランジにおけるガイド部前面に突出物がないので、差し込み操作を邪魔されず円滑に箱体へ挿入できる効果がある。

【 0 0 3 8 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の効果に加え、フランジの先端は案内柱の側面に対し、直角または後口側へ多少傾いて配置されていることによって、フランジのガイド部は側壁側よりも先端の隅角部分がファスナーテープに一番最後に摺接するので、ファスナーテープのガイドが円滑かつ効率よく行える効果がある。

10

【 0 0 3 9 】

請求項 4 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の効果に加え、フランジにおける斜面の起点は、引手の取付軸を案内柱に軸支した部分を始端として斜面を形成したことによって、スライダーの胴体は、引手を引っ張って摺動させるとき、フランジにおける引手の取付軸の前方に突出物がないので、ファスナーチェンに与える摺動抵抗が小さく、スライダーを円滑に摺動させることができる効果がある。

【 0 0 4 0 】

請求項 5 および 6 記載の発明は、それぞれ請求項 1 または 2 記載の発明の効果に加え、フランジと側壁にかけて配設する下り勾配の斜面からなるガイド部は、側壁の縦断面形状が直線を描くか、または曲線を描く形状に形成したことによって、ファスナーテープの厚さ材質等を加味して最適なガイド部を具備したスライダーに形成できる効果がある。

20

【 0 0 4 1 】

請求項 7 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の効果に加え、フランジの上面に所定間隔において略胴体の輪郭に等しい覆板を案内柱に配設したことによって、通常の開き製品のスライドファスナーに似せて、開離嵌挿操作、摺動操作を通常のスライドファスナーとして取り扱うことができる効果があるなど、この発明が奏する効果はきわめて顕著である。

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 第 1 実施例の隠しタイプのスライダーの斜視図である。

【 図 2 】 同上スライダーの側面図である。

30

【 図 3 】 同上スライダーの縦断面図である。

【 図 4 】 同上スライダーを備えた開離嵌挿具付ファスナーチェンの正面図である。

【 図 5 】 同上スライダーを備えた開離嵌挿具付ファスナーチェンの図 4 における側面図である。

【 図 6 】 同上スライダーを備えた開離嵌挿具付ファスナーチェンにおける蝶棒のスライダーへの挿入態様を示す側面図である。

【 図 7 】 同上スライダーを備えた開離嵌挿具付ファスナーチェンにおける蝶棒の箱体への挿入態様を示す側面図である。

【 図 8 】 第 2 実施例の隠しタイプのスライダーの正面図である。

【 図 9 】 同上スライダーの側面図である。

40

【 図 1 0 】 図 8 における A - A 断面図である。

【 図 1 1 】 サイド部の変形例を示す隠しタイプのスライダーの側面図である。

【 図 1 2 】 第 3 実施例の隠しタイプのスライダーの正面図である。

【 図 1 3 】 同上スライダーの側面図である。

【 図 1 4 】 公知の隠しタイプのスライダーの正面図である。

【 図 1 5 】 他の公知の隠しタイプのスライダーの斜視図である。

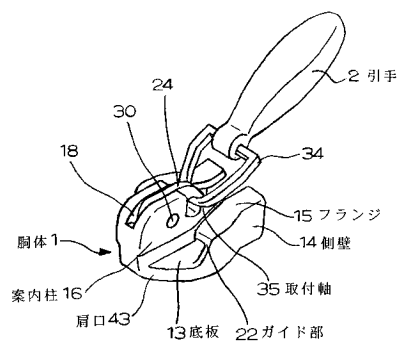
【 符号の説明 】

- 1 胴体
- 2 引手
- 1 1 蝶棒

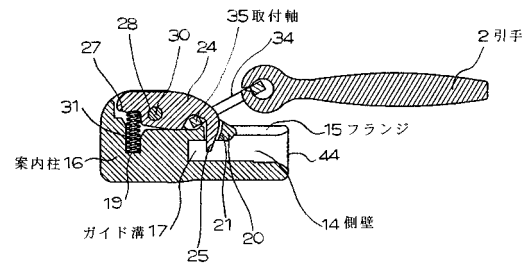
50

1 3	底板
1 4	側壁
1 5	フランジ
1 6	案内柱
1 7	ガイド溝
2 2	ガイド部
3 2	覆板
3 5	取付軸
4 3	肩口
4 4	後口

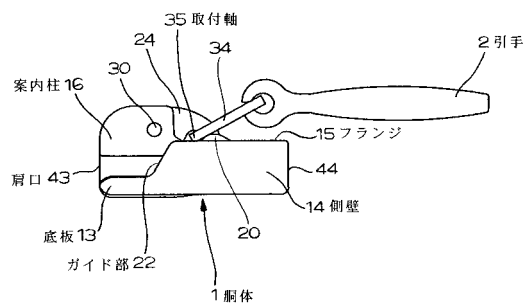
【図 1】



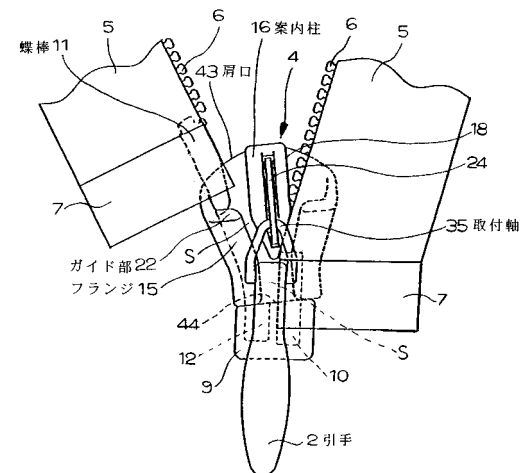
【図 3】



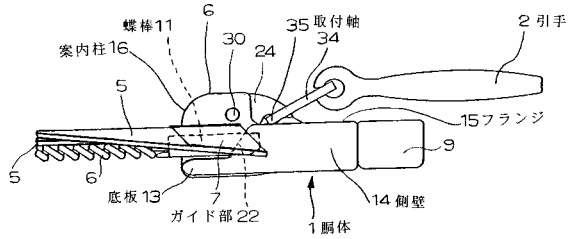
【図 2】



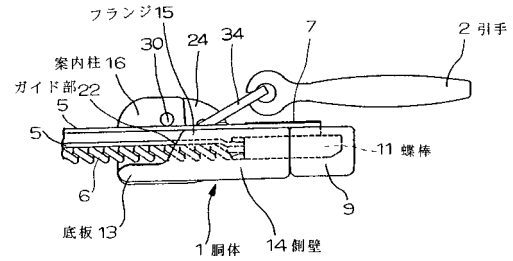
【図 4】



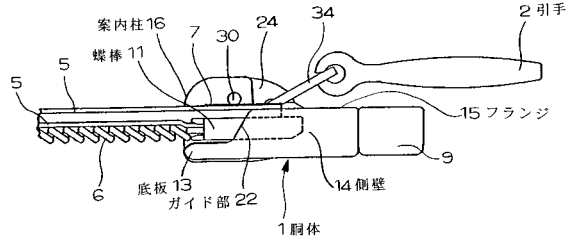
【図 5】



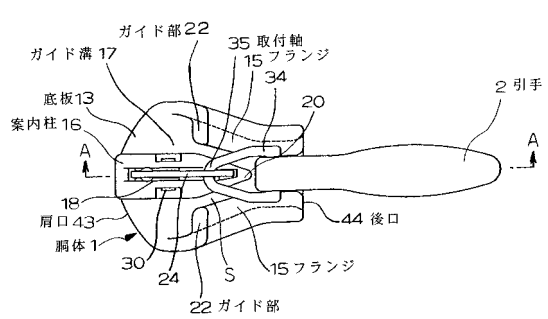
【図 7】



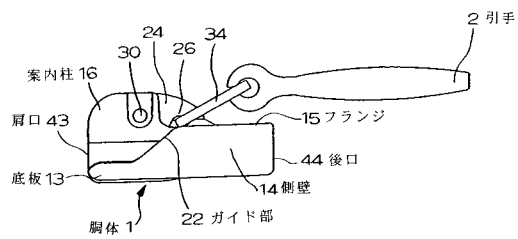
【図 6】



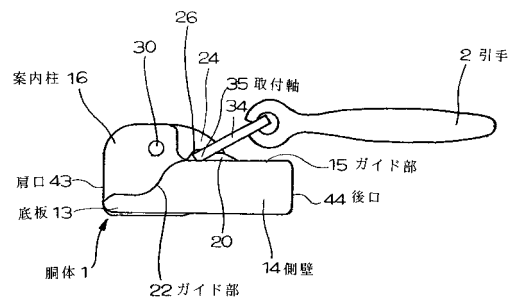
【図 8】



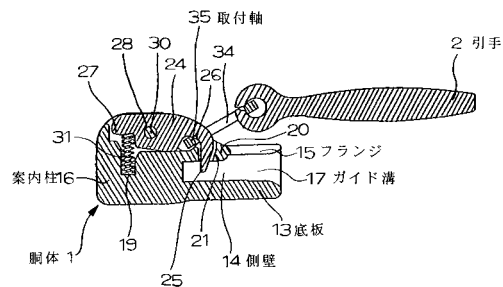
【図 9】



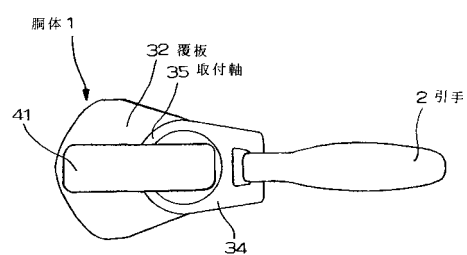
【図 11】



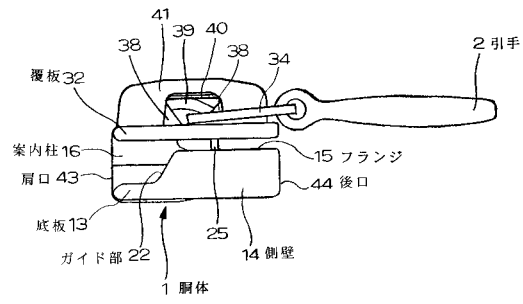
【図 10】



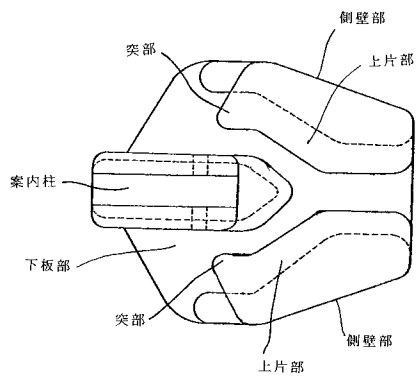
【図 12】



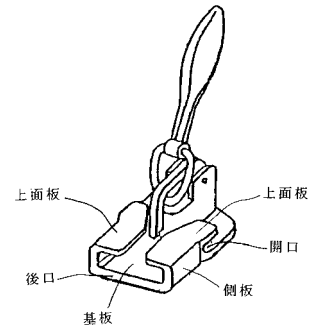
【図 13】



【図 14】



【図 15】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開平07-000212(JP,A)
特開平06-046906(JP,A)
特開2001-095608(JP,A)
特開平09-037817(JP,A)
特開平07-275015(JP,A)
実開昭51-046504(JP,U)
実開昭58-195509(JP,U)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A44B 19/00-19/64